

社会福祉法人
秀幸福社会

2025・No.304

6月



特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

高槻エルダーセンター

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町2丁目4-32
TEL 072-690-5151 FAX 072-690-5141

地域密着型デイサービスセンター 未来

〒567-0823 大阪府茨木市寺田町8-20
ピアハイツ幸1階
TEL 072-635-8484 FAX 072-635-8451

三島・庄栄地域包括支援センター

〒567-0023 大阪府茨木市西河原2丁目17-4
TEL 072-631-5566 FAX 072-631-5555

太田・西河原地域包括支援センター

〒567-0018 大阪府茨木市太田1丁目17-20
TEL 072-631-5200 FAX 072-631-5222

東・白川地域包括支援センター

〒567-0806 大阪府茨木市鮎川1丁目6-4
TEL 072-636-8686 FAX 072-636-8687

いきいきネット相談支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
CSW 専用携帯 080-8946-3999
FAX 072-631-5141

茨木市福井多世代交流センター

〒567-0062 大阪府茨木市東福井2丁目23-22
TEL 072-643-1300 FAX 072-643-1300

**大阪府指定住宅確保要配慮者居住支援法人
社会福祉法人 秀幸福社会**

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35
TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

相談支援センターひまわり(茨木市指定・委託事業所)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-626-3310 FAX 072-626-3340

放課後等デイサービス ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目13-27
TEL 072-623-5511 FAX 072-623-5550

放課後等デイサービス フォルテひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目7-27
ピアフォルテ102・103
TEL 072-622-6081 FAX 072-622-6082

認定こども園 ちとせ学院 (本園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35
TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 Ramo (分園)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目8-13
TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 めぐみの森

〒567-0814 大阪府茨木市戸伏町13-35
TEL 072-626-1606 FAX 072-626-3164

認定こども園 ちとせ学院 Due 南茨木

〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目10-31
TEL 072-638-9191 FAX 072-638-9192

保育所 ちとせ学院 Tre 保育園

〒567-0855 大阪府茨木市新和町21-21
TEL 072-635-1200 FAX 072-635-1201

太田・西河原地域包括支援センター



日頃は地域包括支援センターの活動にご協力
いただきありがとうございます。

当センターは、高齢者の総合相談窓口として、
介護保険の手続きや生活上での相談などに対応
しています。

個別での訪問や、地域の集会に参加して健康・
介護相談なども行っております。

地域住民の頼れる存在となれるように活動を続
けてまいります。

お気軽にお声掛けいただけると嬉しいです。



今年も

認知症サポーター養成講座

開催します！



令和7年9月に地域住民の方々を対象に認知症サ
ポーター養成講座の開催を予定しています。

自分や身近な人が認知症になっても、地域で安心し
て暮らし続けられるように、認知症を正しく学び
「いま私にできること」を一緒に考えてみませんか。

※9月開催の詳細は、チラシや市の広報にてお知らせします。

※5月には地域の大学生を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。



民生委員定例会・セーフティネットワーク連絡会・地域のカフェやサ
ロンに参加して、地域の方々と顔の見える関係づくりに取り組ん
でいきます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。(職員一同)



庄栄エルダーホームヘルプステーション



令和7年 6月



いつもご利用ありがとうございます。

紫陽花がきれいに咲き始め、梅雨の訪れを感じる季節となりました。今年は例年に比べ気温の高い日が続いております。室内でも熱中症のリスクがあります。こまめな水分補給を心がけてください。ヘルプステーション一同、皆様の健やかな毎日を心より願い、これからも精一杯サポートさせていただきます。



5月のヘルパー勉強会では、車いす介助や移乗介助について学びました！グループに分かれて近くの公園までそれぞれ介助し合い、安全な操作方法や注意点などについて、話し合いながら実習を行いました♪ヘルパーさん皆優しいお声掛けでさすがの安心感のある介助でした～🌸良かったことも大変だったこともみんなで共有しながら、これからもヘルパー一同仲良く朗らかにご利用者様のお宅へ訪問させていただきます！

～・～ヘルプステーションからのお知らせ～・～

★この春、女性ヘルパーさん2名が新しく仲間に加わりました★
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



サービス提供責任者

杉浦・園山・高木・松尾・小林・宮崎



6月

庄栄エルダーセンター 診療室

「梅雨バテ」にご用心

心当たりありませんか？

- ☐ 頭痛や肩こり、腰に痛みを感じる
- ☐ 体がだるい
- ☐ 夜更かしが増えた
- ☐ コーヒーや紅茶を飲むことが多い
- ☐ 氷の入った飲み物をよく飲む
- ☐ 尿が濃い黄色、臭いもきつい、
回数が少ない
- ☐ 食事回数や量が少ない



上記に当てはまる場合は梅雨バテ注意です！

対策

規則正しい睡眠と食事が大事です

- 夜更かしせず睡眠時間を確保しましょう
- こまめに塩分や水分を取りましょう
- 帽子や日傘で直射日光を防ぎ、涼しい服装で出かけましょう
- 体調が悪い時に無理をしないようにしましょう
- 旬の野菜や果物をとりいれましょう
- 適度な運動をしましょう



梅雨は気分もスッキリしない時期ですが
心と体を大事に、楽しい日々を過ごしましょう！

防災特集

減災

2018年6月18日
7時58分と言えば…。

虎の巻

そうです…大阪北部地震が起こった日時です。
皆さん…、あの時を覚えていらっしゃいますか。
最大震度6弱、小学生女兒がブロック塀の下敷きになり
死亡、多くの家屋の屋根瓦が落ちて、ブルーシートが掛け
られたあの光景。
また、阪神淡路大震災から30年が経つ今年。高い確率
で、発生が叫ばれている「南海トラフ大地震」。
皆さん…備えは出来ていますか。
地震や台風、豪雨などの自然災害を防ぐことは出来ませ
ん。大事なのは、発災した際に少しでも冷静に対応する
「平時からの備え」です。

今回は、茨木市コミュニティワーク協議会が作成した
「減災 虎の巻」を紹介します。
これを参考にご家族などで話し合いをしていただき、
「いざっ！」という時の備えを心掛けてください。



「平時からの備えが、
あなたやご家族などの
大切な命を守ります！」

「人と未来防災センター」の
見学に行ってきました！！



4月15日(火)に庄栄エルダーセンターが
所在する茨木市東園域の介護保険事業所の
防災担当者20名で、神戸市中央区にある
「人と未来防災センター」に行ってきました。



目的は、阪神淡路大震災から30年目となる今年、当時の様子を見学することで改めて記憶
を呼び起こし、今後起こるであろう「南海トラフ大地震」に備えて「事業所として、そして自身で
何ができるか、何が備えとして必要か」を考えるきっかけとするものです。

当時の写真や崩壊した街並みのリアル展示、被災者の生の声などをお聴きして、正直、胸が
詰まる思いでした。



これからも立ち止まることなく、「防災・減災活動」に動んでまいります。
皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

いざというとき役に立つ

「減災虎の巻」

地震や台風・風水害、事故や病気はいつでもだれにでも起こり得ること。「減災虎の巻」は、非常時の被害を最小限に抑え、自分と大切な人の生活を守るために必要なことを項目別・ステージごとにまとめたものです。「もしも明日、生活が一変したら？」をイメージしながら、家族や住んでいる地域の状況に応じて、定期的に見直して活用してください。非常時の備えは普段の生活から。バッグの中、冷蔵庫に貼って…身近にあると安心です。

発行：2025年3月 茨木市 CSW 協議会 → 検索「茨木市 CSW」



自助編：緊急時に必要な情報や物資を速やかに使えるよう、個人と家族が取り組むこと

<基本情報>

氏 名 _____
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
住 所 茨木市 _____
電話番号 _____ - _____ - _____
緊急連絡先① _____ () _____
② _____ () _____
その他(既往歴/主治医/服薬/家族状況等) _____

「水や食品のローリングストック」

「ハザードマップの確認」
「定期的な家族会議」
「減災グッズの携帯」
「家具の固定」など、
普段の生活の中でできる
ことをしておきましょう。

ふだんから備えて
おきたいことやモノ

0 次

共助編：地域で互いに支え合うこと

<頼れるご近所さんの連絡先は？>

〒 _____ - _____ - _____ () _____

あいさつは共助の道の第一歩♪

ゴミ置き場を共有するご近所さんと、
日頃からあいさつを交わしていると、
防犯・防災・減災に役立ちます。
地域行事への参加も効果的です。

<0次の減災グッズリスト>

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 携帯電話 | ☐ 水500mL |
| ☐ モバイルバッテリー | ☐ 携帯食 |
| ☐ 身分証明書 | ☐ ホイッスル |
| ☐ 現金 | ☐ 手袋 |
| ☐ 連絡メモ | ☐ 雨具 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 防寒具 |
| ☐ 応急手当セット | ☐ マスク |
| ☐ 常備薬 | ☐ ハンカチ・ティッシュ |
| ☐ | ☐ |
| ☐ | ☐ |

公助編：行政による公的支援

<() 小学校区の身近な相談窓口>

★いきいきネット相談支援センター

〒 _____ - _____ - _____

★地域包括支援センター

〒 _____ - _____ - _____

★消費生活センター：188

困りや不安は、普段から抱えず相談してください！

いざというとき
必要なことやモノ

自助編

1次

共助編

何度か会えばお知りあい
災害時にはワンチーム！

地域の防災訓練はいつかな？

[]

どこに避難する？

[]

ライフラインが
途絶えても
慌てないための備え

自助編

2次

共助編

認めよう いろんな
つながりお互いに(^^)

避難所でも、自宅避難でも、近くの人と
お互いに声をかけ、助け合いましょう。

<所属先情報>

機関名[]

担当者[]

☎

★災害用伝言ダイヤル:171

基本情報をみながら
落ち着いて連絡を...

公助編

★警察:110(相談は#0110)

★火事/救急:119(相談は#0119)

★茨木市(代):072-622-8121

<加入している保険会社等の連絡先>

公助編

★茨木市社会福祉協議会

災害ボランティアセンター:

072-627-0086

★検索[内閣府防災情報]

グッズリストは1人分最低限のものです。家族状況(赤ちゃん・
要援護者・ペット等)に応じて必要なモノを追加してください。
→参考[茨木市防災ハンドブック]

<1次の減災グッズリスト>

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 持ち出し用リュック | ☐ 水1.5L |
| ☐ ヘルメット | ☐ 携帯食3食分 |
| ☐ 防刃手袋 | ☐ タオル |
| ☐ 運動靴 | ☐ ポリ袋 |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ サバイバルシート |
| ☐ 簡易トイレ8回×3日分 | ☐ 万能ナイフ |
| ☐ トイレットペーパー | ☐ ウェットティッシュ |
| ☐ 歯磨きセット | ☐ |
| ☐ | ☐ |
| ☐ | ☐ |

<2次の減災グッズリスト>

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 簡易トイレ8回分×7日分 | ☐ 水3L×7日分 |
| ☐ ドライシャンプー | ☐ 保存食3食×7日分 |
| ☐ 持病薬の予備 | ☐ カセットコンロ |
| ☐ 予備の電池 | ☐ カセットボンベ |
| ☐ 毛布 | ☐ 食器類・ラップ・ホイル |
| ☐ 衣類 | ☐ 給水袋 |
| ☐ ストレス軽減グッズ | ☐ |
| ☐ | ☐ |
| ☐ | ☐ |
| ☐ | ☐ |

●法人理念●

社会福祉法人 秀幸福社会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営む事が出来るよう支援することを目的としています。

●運営目標●

- I 心が美しい人間になろう。
- II ひとり一人がみんなの命のぬくもりを大切にしよう。
- III やる気、本気で精一杯力を出し合おう。

●施設運営方針●

I 施設の使命

老人福祉施設庄栄エルダーセンターは、地域社会の支持を受け、開かれた施設として高齢者が地域社会の中で安心して生活を送ることができる、拠点施設となる事を使命とします。

II 利用者の生活の質の向上

老人福祉施設は尊厳を持って、利用者の個別ニーズに対応した自己決定を基盤とする自立支援をすると共に、優しさあふれた明るい施設作りを目指します。

III 職員の質の向上と専門性の向上

老人福祉施設の職員は常に質の高いサービスができるよう外部、内部研修に力を入れ円滑な人間関係の下『知識』『知恵』のあるケースを提供することを目的とします。

IV 地域福祉の向上

庄栄エルダーセンターは交通の利便性、人口密集地区にある施設として、施設、家族、地域の『きずな』を重視し、福祉サービスの発信基地、ボランティア活動の拠点となり、保健、医療機関との連携を密にして、地域の福祉の向上に努めます。